

■引用・参考文献一覧（著者名五十音順）

- "Encyclopedia of Educational Research" -5th ed.- , New York : Free Press. 1982年
- "Encyclopedia of Rhetoric and Composition", New York : Garrand Publishing, Inc. 1996年
- "Who's Who In America" vol.X(1918-1919) 及びvol.XI(1920-1921), Chicago:A.N.Marquis & Company.
A.S.Hill "The Principles of Rhetoric", New York & London : Harper & Brothers Publishers. 1878年
- J.F.Genung "The Practical Elements of Rhetoric", Boston : Ginn & Company. 1886年
- J.F.Genung "Handbook of Rhetoric Analysis", Boston : Ginn&Company. 1888年
- J.F.Genung "Outlines of Rhetoric", Boston : Ginn & Company. 1893年
- J.F.Genung "The Working Principles of Rhetoric", Boston : Ginn & Company. 1900年
- J.F.Genung & C.L.Hanson "Outlines of Compton And Rhetoric", Boston : Ginn & Company. 1915年
- 青木幹勇『書きながら読む』明治図書、1968年2月
- 青木幹勇『青木幹勇授業技術集成第4巻』明治図書、1976年
- 青木幹勇『表現力を育てる授業』明治図書、1980年10月
- 青木幹勇『第三の書く』国土社、1986年8月
- 秋田喜三郎『創作本位新読本と綴方教育』晃文社、1937年2月
- 浅山 尚『綴方教授の根本問題』イデア書院、1927年9月(改題『綴方教授の破壊と建設』隆文館図書、1915年)
- 芦田恵之助『綴り方教授』育英書院、1913年3月
- 芦田恵之助『綴方十二ヶ月〈復刻版〉』文化評論出版、1971年8月
- 芦田恵之助『綴方教室〈復刻版〉』文化評論出版、1972年11月
- 芦田恵之助『綴り方教授に関する教師の修養〈復刻版〉』玉川大学出版部、1973年2月
- 芦田恵之助『綴り方教授法〈復刻版〉』玉川大学出版部、1973年2月
- 芦田恵之助『綴方教授細目私案〈復刻版〉』文化評論出版、1978年1月
- 荒木晶子・向後千春・筒井洋一『自己表現力の教室』情報出版センター出版局、2000年4月
- 有沢俊太郎『明治前中期における日本的レトリックの展開過程に関する研究』風間書房、1998年1月
- アリストテレス／村治能就訳『トピカ』(岩波版全集)、岩波書店、1968年12月
- アリストテレス／宮内璋訳注『アリストテレス全集』第2巻、岩波書店、1970年2月
- アリストテレス／戸塚七郎訳『弁論術』岩波文庫、1992年3月
- 有富郁夫『暗示主義の綴方指導』東京出版社、1928年9月
- イーグルトン／大橋洋一訳『新版文学とは何かー現代批評理論への招待』岩波書店、1997年2月
- 飯田恒作『綴り方の内面的研究』天地書房、1924年9月
- 飯田恒作『綴方の本質と指導の実際』精文堂書店、1928年11月
- 飯田恒作『綴る力の展開とその指導』培風館、1935年9月
- 五十嵐力『文章講話』早稲田大学出版部、1905年6月
- 五十嵐力『新文章講話』早稲田大学出版部、1909年12月
- 五十嵐力『実習新作文』早稲田大学出版部、1910年5月
- 五十嵐力『作文三十三講』早稲田大学出版部、1913年11月
- 五十嵐力『高等女子新作文』(合冊本)、大日本図書、1916年5月
- 五十嵐力『縮刷新文章講話』早稲田大学出版部、1916年8月
- 五十嵐力『中等新作文』全5巻、至文堂、1917年2月
- 五十嵐力『中等新作文参考書』至文堂、1917年12月
- 五十嵐力『実業新作文』全3巻、修文館、1919年3月

- 五十嵐力『五十嵐力講述／修辞学講話』早稲田大学出版部、1920年
- 五十嵐力『訂正中等新作文』全5巻、至文堂、1920年12月
- 五十嵐力『修辞学大要』斯文書院、1923年7月
- 五十嵐力『国語の愛護』早稲田大学出版部、1928年4月
- 五十嵐力『修辞学綱要』啓文社、1935年3月
- 五十嵐力『我執転々記』東宛書房、1936年11月
- 五十嵐力・岡一男編『源氏物語と文芸科学－自叙伝的に』教育社、1974年11月
- 五十嵐力先生御夫妻追悼録刊行会『五十嵐力先生御夫妻を偲ぶ』追悼録刊行会、1980年8月
- 池田彌一郎・今井清明『綴文能力に基づける高等小学校綴方教授細案』積善館、1919年6月
- 石井庄司『中学生の文芸教室 手紙の書き方』同和春秋社、1951年7月
- 石井庄司『私の国語教壇』桐蔭山房蔵、1988年7月
- 石井庄司・井上敏夫・野地潤家編『入門芦田恵之助／教育科学国語教育』376号 明治図書、1987年3月
- 石川宏子『中学生の作文教育』新評論、1976年8月
- 石森延男『国語教育諸島』中央社、1949年10月
- 石山脩平『国語教育論』成美堂、1937年2月
- 磯貝英夫他編『表現類語辞典』東京堂出版、1985年3月
- 磯貝英夫他編『類語活用辞典』東京堂出版、1989年9月
- 板坂 元『考える技術・書く技術』講談社現代新書、1973年8月
- 板坂 元『続考える技術・書く技術』講談社現代新書、1977年9月
- 板坂 元『何を書くか、どう書くか』光文社カッパブックス、1980年5月
- 伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣、2001年12月
- 市川 孝『新訂文章表現法』明治書院、1968年3月
- 市川 孝『国語教育のための文章論』教育出版、1973年12月
- 市川 孝『国語教育のための文章論概説』教育出版、1978年9月
- 市毛勝雄『高校生のための作文読本』有朋堂、1978年11月
- 市毛勝雄『説明文の読み方・書き方』明治図書、1985年8月
- 市毛勝雄『間違いだらけの文章作法』明治図書、1986年10月
- 伊藤 整『文章読本』河出書房、1954年9月
- 伊中悦子他編『学生のための言語表現法』双文社出版、1993年3月
- 井上一郎『国語力の基礎・基本を創る－創造力育成の実践理論と展開－』明治図書、2004年5月
- 井上尚美・福沢周亮・平栗隆之『一般意味論－言語と適応の理論－』河野心理教育研究所、1974年9月
- 井上尚美『言語論理教育への道－国語科における思考－』文化開発社、1977年6月
- 井上尚美・大熊 徹『授業に役立つ文章論・文体論』教育出版、1985年3月
- 井上尚美『言語論理教育入門－国語科における思考－』明治図書、1989年7月
- 井上尚美『レトリックを作文指導に活かす』明治図書、1993年9月
- 井上尚美・福沢周亮『国語教育・カウンセリングと一般意味論』明治図書、1996年1月
- 井上尚美『言語論理教育の探究』東京書籍、2000年3月
- 井上敏夫他編『近代国語教育論大系3 明治期Ⅲ』光村図書、1975年3月
- 井上敏夫『新しい文章表現力の指導』全5巻、明治図書、1979年9月
- 井上敏夫編『国語教育史資料 第2巻 教科書史』東京法令出版、1981年4月
- 井上敏夫『作文教育の理論と実践(著作集5)』明治図書、1982年
- 井上敏夫他編『新作文指導事典』第一法規、1982年11月

- 井上敏夫『良文に学ぶ』明治図書、1988年8月
- 井上ひさし『自家製文章読本』新潮社、1984年4月
- 入江徳郎『作文の技術』実業之日本社、1977年5月
- 入部明子『論理的文章学習帳ーコンピュータを活用した論理的文章の書き方ー』牧野出版、2002年10月
- 入谷敏男『話しことば』中公新書、1981年11月
- 岩淵悦太郎他編『言語と教育 I』岩波書店、1961年2月
- 岩淵悦太郎編著『新版 悪文』日本評論社、1961年12月
- 岩淵悦太郎他編『現代日本語』筑摩書房、1970年1月
- 植垣節也『文章表現の技術』講談社現代新書、1979年11月
- 上田萬年『作文教授法』富山房、1895年8月
- 上田萬年『中等教科作文法』上巻文則編／下巻資料編、大日本図書、1910年2月
- 植山俊宏他『相互評価的視点・発達の見地に立つ教員養成のための文章表現指導に関する実践的研究』平成15～17年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(1))研究成果報告書、2006年3月
- 内田 紘・森 隆夫編『学校の歴史 第3巻 中学校・高等学校の歴史』第一法規、1979年5月
- 内田伸子『子どもの文章ー書くこと考えることー』東京大学出版会、1990年6月
- 内海弘蔵『新体作文大成』成美堂、1910年11月
- 内海弘蔵『文章十講』文成社、1910年12月
- 内海弘蔵『文章作法』成美堂、1912年5月
- 宇波 彰『言語論の思想と展開』三一書房、1972年2月
- 宇野義方他『短文・小論文の書き方』有斐閣新書、1978年8月
- 馬淵和夫監修『国語科指導資料集第3巻・表現言語編』東京法令出版、1982年8月
- 梅棹忠夫『知的生産の技術』岩波新書、1969年7月
- 梅田卓夫・清水良典・服部左右一・松川由博編『高校生のための文章読本』筑摩書房、1986年3月
- 梅田卓夫・清水良典・服部左右一・松川由博『新作文宣言』筑摩書房、1989年7月
- 梅田卓夫『文章表現四〇〇字からのレッスン』ちくま学芸文庫、2001年2月
- 江川順一『最北端の漢文教室から』大修館書店、1997年12月
- 江湖山恒明『国語表現論の構想』明治書院、1981年5月
- 榎本隆司『作文教室』新塔社、1979年4月
- 遠藤瑛子『ことばと心を育てるー総合単元学習ー』溪水社、1992年7月
- 扇谷正造『現代文の書き方 12の心得』講談社現代新書、1965年9月
- 旺文社編『小論文・作文ノート』旺文社、1982年12月
- 旺文社編『国語表現ワークブック』旺文社、1993年4月
- 大出 晃『日本語と論理』講談社現代新書、1965年7月
- 大内善一『戦後作文教育史研究』教育出版センター、1984年6月
- 大内善一『発想転換による105時間作文指導の計画化』明治図書、1991年6月
- 大内善一『戦後作文・生活綴り方教育論争』明治図書、1993年9月
- 大内善一『思考を鍛える作文授業づくり』明治図書、1994年6月
- 大内善一『作文授業づくりの到達点と課題:小学校国語』東京書籍、1996年10月
- 大内善一『国語科教育学への道』溪水社、2004年3月
- 大熊 徹『文章論的作文指導』明治図書、1994年2月
- 大熊 徹『作文・綴り方教育の探究』教育出版、1994年12月
- 大河内義雄『コピー学習で作文力を鍛える』明治図書、1992年5月

- 大槻一夫『作文能力の開発』明治図書、1967年2月
大西道雄『短作文指導の方法－作文の基礎力の完成－』明治図書、1980年4月
大西道雄『学習の手引による国語科授業の改善』明治図書、1987年4月
大西道雄『意見文指導の研究』溪水社、1990年3月
大西道雄『短作文の授業』国土社、1991年3月
大西道雄『作文の基礎力を完成させる短作文指導』明治図書、1991年6月
大西道雄『短作文の評価と処理』明治図書、1994年4月
大西道雄『国語科授業論序説』溪水社、1994年12月
大西道雄『作文教育における創構指導の研究』溪水社、1997年12月
大西道雄『作文教育における文章化過程指導の研究』溪水社、2004年10月
大野 晋『日本語練習帳』岩波新書、1999年1月
大野 晋・浜西正人『類語新辞典』角川書店、1981年1月
大野正博『新版・小論文の基礎』福武書店、1988年1月
大野正博『新訂版・新小論文の研究』福武書店、1988年11月
大平浩哉編著『高等学校国語科新しい授業の工夫20選』大修館書店、1986年9月
大平浩哉編著『高等学校国語科新しい授業の工夫20選(第2集)』大修館書店、1989年4月
大平浩哉編著『高等学校国語教育情報事典』大修館書店、1992年11月
大平浩哉編著『高等学校国語科新しい授業の工夫20選(第3集)』大修館書店、1994年7月
大平浩哉編著『高等学校国語科新しい授業の工夫20選(第4集)』大修館書店、1998年4月
大平浩哉編著『「国語総合」新しい授業の工夫20選』大修館書店、2003年1月
大町桂月『模範作文講話』改版、三星社、1924年2月
大村はま『国語教室の実際』共文社、1960年12月
大村はま『やさしい文章教室』共文社、1968年9月
大村はま『学習慣用語句辞典』三省堂、1978年10月
大村はま『大村はまの国語教室』小学館、1981年7月
大村はま他『日本語を豊かに－どう教え、どう学ぶ－』小学館、1983年2月
大村はま『大村はまの国語教室2』小学館、1983年10月
大村はま『大村はま国語教室』全15巻+別巻、筑摩書房、1982年-1985年
大矢武師他編『高等学校における表現指導の理論と実践』明治書院、1978年10月
大和田建樹『修辞学』博文館、1893年1月
大和田建樹『作文組立法』博文館、1893年10月
大和田建樹『文章組立法』博文館、1906年9月
岡本明人『国語科授業の常識を疑う3 作文』明治図書、1990年9月
岡本明人『授業ディベート入門』明治図書、1992年6月
尾川正二『文章表現入門』創元社、1974年1月
尾川正二『文章の書き方』講談社現代新書、1982年5月
小川雅子『国語表現力の構造と育成』溪水社、2003年11月
小川雅子『人間学的国語教育の探究』溪水社、2006年3月
奥秋義信『日本語の文章術－文章の書き方百科－』創拓社、1993年3月
奥野庄太郎『綴方指導の原理と其実際』文化書房、1930年7月
小田大蔵他『郷土の碩学』新潟日報事業社、2004年12月
尾上八郎・堀越喜博『女子新作文』至文堂、1923年5月

- オリヴィエ・ルーブル／佐野泰雄訳『レトリック』白水社(文庫クセジュ)、2000年11月
- 解釈学会編『国語表現』教育出版センター、1984年3月
- 垣内松三『国語の力』不老閣書房、1922年5月
- 垣内松三『国語教育論史』文学社、1934年11月
- 學燈社編『文章表現の手帖』學燈社、1968年1月
- 學燈社編『新・文章作法入門』學燈社、1973年9月
- 學燈社編『あなたも文章が書ける』學燈社、1975年12月
- 學燈社編『言語表現法—文章の書き方と話し方—』學燈社、1977年9月
- 學燈社編『知的戦略文章説得術』學燈社、1982年1月
- 學燈社編『文章表現セミナーA-Z』學燈社、1986年11月
- 学研『小論文の基本テクニック』学習研究社、1990年
- 加藤熊一郎『演説文章応用修辞学』丙午出版社、1923年5月
- 加藤典洋『言語表現法講義』岩波書店、1996年10月
- 加藤秀俊『自己表現』中公新書、1970年9月
- 加藤秀俊『取材学』中公新書、1975年10月
- 加藤宏文『高校文章表現指導の探究』溪水社、1983年8月
- 加藤宏文『高等学校私の国語教室 主題単元学習の構築』右文書院、1988年6月
- 金澤文教編『情報化に対応する作文指導』明治図書、1989年3月
- 金子忠史『変革期のアメリカ教育—大学編—』東信堂、1984年4月
- 金子忠史『変革期のアメリカ教育—学校編—』東信堂、1985年4月
- 金子彦二郎『女子作文の考へ方作り方及び文例』明治出版協会、1916年11月
- 金子彦二郎『現代女子作文』第1巻-第4巻、光風館書店、1925年1月
- 金子彦二郎『現代常識語辞典』文洋社、1925年3月
- 金子彦二郎『趣味の課外読本』全12巻、明治図書、1926年5月
- 金子彦二郎『三元的国語教授へ』明治図書、1927年5月
- 金子彦二郎『女子現代文学新鈔』全5巻、光風館書店、1927年10月
- 金子彦二郎『女子現代文学新鈔教授参考』全5巻、光風館書店、1928年-1929年
- 金子彦二郎『言葉の魔性神秘性に徹せる国語教授へ』昭和出版社、1928年10月
- 金子彦二郎『現代女子作文』第5巻、光風館書店、1928年11月
- 金子彦二郎『我が作文教授』光風館書店、1929年1月
- 金子彦二郎『新文話と文の教育』明治図書、1929年5月
- 金子彦二郎『修訂三元的国語教授へ』明治図書、1929年5月
- 金子彦二郎『現代女子作文』全5巻修正再版、光風館書店、1930年12月
- 金子彦二郎『新時代のまことの国語教授』三元堂書店、1932年4月
- 金子彦二郎『手紙文実習講話』三元堂書店、1935年2月
- 金子彦二郎『考へるよりも歩め』第3輯、光風館書店、1935年6月
- 金子彦二郎『智目と行足との新国語教授』培風館、1936年3月
- 金子彦二郎『新進女子作文』全4巻、光風館書店、1939年5月
- 金子彦二郎『考へるよりも歩め』第15輯、光風館書店、1940年3月
- 金子彦二郎『教育と文学』小学館、1942年1月
- 金子彦二郎『明るい中学作文』第一学年用秋冬の巻、光風館書店、1949年11月
- 金子彦二郎『明るい中学作文』第二学年用秋冬の巻、光風館書店、1949年11月

- 金子彦二郎『明るい中学作文』第三学年用秋冬の巻、光風館書店、1949年11月
- 金子書房編集部『生活綴方と作文教育』金子書房、1952年5月
- 金子書房編集部『言語教育と文学教育』金子書房、1952年9月
- 樺島忠夫『文章工学 表現の科学』三省堂新書、1967年10月
- 樺島忠夫『表現の解剖ー続文章工学ー』三省堂新書、1968年10月
- 樺島忠夫『情報創造ー情報化時代の発想法ー』三省堂、1969年10月
- 樺島忠夫『情報・文章・システム”書く”とはどんな行為か』毎日新聞社、1970年1月
- 樺島忠夫『文章作法』日本経済新聞社、1970年10月
- 樺島忠夫『書くことの意味〔改訂新版〕』毎日新聞社、1977年10月
- 樺島忠夫他『新文章工学』三省堂選書、1978年10月
- 樺島忠夫編『文章作法事典』東京堂出版、1979年3月
- 樺島忠夫『日本語のスタイルブック』大修館書店、1979年4月
- 樺島忠夫『文章構成法』講談社現代新書、1980年8月
- 樺島忠夫他編『作文指導事典』東京堂出版、1980年9月
- 樺島忠夫他著『基礎からの国語表現の実践』京都書房、1982年1月
- 樺島忠夫『文章作成の技術』三省堂、1992年4月
- 蒲池美鶴『わたしは小学生』くろしお出版、1964年9月
- 亀村五郎『赤ペン《評語》の書き方』百合出版、1979年7月
- 亀村五郎『子どもを生かす作品研究』百合出版、1980年12月
- 加留部謹一『中学校国語科教育の実践像』溪水社、2006年1月
- ガレー／高森邦明訳『作文指導法の原理』鳩の森書房、1979年5月
- 川喜田二郎『パーティー学ー人の創造性を開発する法ー』社会思想社、1964年11月
- 川喜田二郎『発想法』中公新書、1967年6月
- 川端康成『新文章読本』あかね書房、1950年11月
- 川端康成他編『文章講座』全6巻、河出書房、1954年9月
- 川本信幹『高等学校における表現指導の実際』明治書院、1984年2月
- 川本信幹他編『教室ディベート・ハンドブック』東京法令出版、1993年5月
- 菊池 寛『文章読本』モダン日本社、1937年6月年
- 菊池大麓訳『修辭及華文』文部省、1879年5月
- キケロー／片岡英夫訳『キケロー選集6／修辭学1ー発想論・弁論術の分析』岩波書店、2000年6月
- 北岡俊明『ディベート能力の時代』産能大学出版部、1990年7月
- 北川達夫『図解フィンランド・メソッド入門』経済界、2005年11月
- 北川達夫訳『フィンランド国語教科書小学4年』経済界、2005年11月
- 北川達夫訳『フィンランド国語教科書小学3年』経済界、2006年4月
- 城戸幡太郎『国語表現学』賢文館、1935年10月
- 木下是雄『理科系の作文技術』中公新書、1981年9月
- 木下是雄『レポートの組み立て方』筑摩書房、1990年3月
- 木原 茂『新編現代作文』三省堂、1970年3月
- 木原 茂『文章表現十二章』三省堂、1983年12月
- 木村 泉『ワープロ作文技術』岩波新書、1993年10月
- 木村裕一作／あべ弘土絵『あらしのよるに』講談社、1994年10月
- 教育文化研究会『力のつく作文学習50のアイデア』三省堂、1994年8月

- 教科書研究センター『旧制中等学校教科内容の変遷』ぎょうせい、1984年3月
- 教材言語技術の会『ことば－言語技術(1・2)－』言語技術の会、1984年3月
- 教師養成研究会『作文指導法』学芸図書、1955年7月
- 金田一春彦『話し言葉の技術』光風出版、1956年
- 金原省吾『構想の研究』古今書院、1933年7月
- 金原省吾『表現の問題』古今書院、1937年10月
- 金原省吾『現代文章の日本的性格』厚生閣、1939年6月
- クインティリアヌス／小林博英訳『弁論家の教育1・2』明治図書、1981年4月
- 轡田隆史『顔のある文章の作り方』高文研、1988年2月
- 轡田隆史『うまい！と言われる文章の技術』三笠書房、1994年4月
- 工藤信彦『書く力をつけよう』岩波ジュニア新書、1983年11月
- 倉澤栄吉・大橋富貴子『物語の研究と指導』金子書房、1949年6月
- 倉澤栄吉『作文教育の大系』金子書房、1952年12月
- 倉澤栄吉『作文の教師』牧書店、1955年
- 倉澤栄吉『表現指導』朝倉書店、1957年12月
- 倉澤栄吉・香川県国語教育研究会『国語教材の研究』牧書店、1961年4月
- 倉澤栄吉他『作文の指導過程(全3巻)』新光閣書店、1964年-1966年
- 倉澤栄吉他『近代国語教育のあゆみ』第1巻、新光閣書店、1968年11月
- 倉澤栄吉『作文教育における評価／国語表現法の教育』第一法規、1970年6月
- 倉澤栄吉他『近代国語教育のあゆみ』第2巻、新光閣書店、1970年11月
- 倉澤栄吉・青年国語研究会『筆者想定法の理論と実践－読むことの学習指導の改革－』共文社、1972年10月
- 倉澤栄吉他『近代国語教育のあゆみ』第3巻、新光閣書店、1979年11月
- 倉澤栄吉『作文指導の理論と展開』新光閣書店、1979年12月
- 倉澤栄吉編『国語教育史資料 第4巻 評価史』東京法令出版、1981年4月
- 倉澤栄吉『書く生活をひらく』教育出版、1982年2月
- 倉澤栄吉『実践作文教室の展開』新光閣書店、1984年4月
- 倉澤栄吉『新訂・作文の教師』国土社、1987年6月
- 倉澤栄吉『倉澤栄吉国語教育全集第5巻』角川書店、1989年4月
- 倉澤栄吉『倉澤栄吉国語教育全集第4巻』角川書店、1989年5月
- 倉島保美『書く技術・伝える技術』あさ出版、1999年12月
- 黒岩 大訳『雄弁美辞法』輿論社、1882年3月
- クロタキ・チカラ『新文章学』世界評論社、1949年12月
- 桑門俊成『現代修辞論 作文の道』桜楓社、1980年5月
- 桑原 隆『作文教育のダイナミズム:西尾 実・清野甲子三・山下卓造の軌跡』東洋館出版社、1993年7月
- 桑原 隆『言語生活者を育てる』東洋館出版社、1996年4月
- 桑原 隆『言語活動主義・言語生活主義の探究:西尾実国語教育論の展開と発展』東洋館出版社、1998年7月
- 桑原武夫『文章作法』潮出版社、1980年3月
- ケネス・バーグ／森 常治訳『動機の文法』晶文社、1982年4月
- 言語表現研究会『コミュニケーションのためのことば学』ミネルヴァ書房、1993年4月
- 香西秀信『反論の技術－その意義と訓練方法』明治図書、1995年8月
- 香西秀信『議論の技を学ぶ論法集』明治図書、1996年9月
- 香西秀信『修辭的思考－論理ではとらえきれぬもの』明治図書、1998年5月

- 香西秀信『論争と「詭弁」－レトリックのための弁明』丸善、1999年7月
- 香西秀信『議論術速成法－新しいトピカ』ちくま新書、2000年12月
- 香西秀信・中嶋香緒里『レトリック式作文練習法』明治図書、2004年11月
- 幸田国広編『益田勝実の仕事5／国語教育論集』ちくま学芸文庫、2006年6月
- 幸田露伴『普通文章論』博文館、1908年11月
- 講談社編『現代文章作法』講談社、1986年12月
- 高等女学校研究会編『高等女学校資料集成別巻 高等女学校の研究』大空社、1990年10月
- 小海永二『高校生のための作文上達法』有精堂、1981年7月
- 小海永二他『現代の文章』有精堂出版、1982年12月
- 粉川 宏『国定教科書』新潮社、1985年10月
- 国語教育研究所『国語教育研究大辞典』明治図書、1991年7月
- 国語教授研究会『高等小学綴方教授資料集成』隆文館、1914年1月
- 国語研究会『国語教育』育英書院、1916年1月-1941年3月（『復刻版・国語教育』大空社、1995年12月）
- 国語表現教育研究会『基礎からの国語表現』旺文社、1985年4月
- 国語表現法研究会『すぐに役立つ国語表現』学術図書出版社、1991年3月
- 国分一太郎『新しい綴方教室（増補版）』日本評論社、1952年4月
- 国分一太郎『みんなの綴方教室』新評論、1973年9月
- 国分一太郎『続・みんなの綴方教室』新評論、1980年8月
- 国立教育研究所『日本近代教育百年史』国立教育研究所、1974年3月
- 国立国語研究所『小学生の言語能力の発達』明治図書、1964年10月
- 児島献吉郎『帝国女子作文』巻1、帝国書院、1925年9月
- 児島献吉郎『帝国中等作文』全4冊、帝国書院、1925年9月
- 輿水 実『表現学序説』不老閣書房、1936年
- 輿水 実・沖山 光『言語教育と言語教材』金子書房、1950年9月
- 輿水 実『国語教材のあり方と学習指導』明治図書、1961年
- 輿水 実『表現学序説－作文教育の改造－』明治図書、1969年9月
- 輿水 実『国語科作文教育』明治図書、1975年6月
- 小林喜三男他『論理的思考を高める表現指導』一光社、1974年12月
- 小松善之助『国語の授業組織論』一光社、1976年12月
- 駒村徳壽・五味義武『写生を主とした綴方新教授細案』上・下巻、目黒書店、1915年7月
- 五味義武『綴方指導の実際』目黒書店、1921年3月
- 五味義武『綴り方教育の刷新』目黒書店、1925年4月
- 近藤元粹『中等学校作文教科書』日善社、1889年3月
- 近藤 真『コンピュータ綴り方教室』太郎次郎社、1996年5月
- 西郷竹彦『関係認識、変革の教育』明治図書、1966年2月
- 西郷竹彦『虚構の作文指導』明治図書、1976年6月
- 西郷竹彦『作文の見方』明治図書、1981年8月
- 西郷竹彦『作文の指導』明治図書、1983年8月
- 西郷竹彦『作文と教育』明治図書、1987年9月
- 西郷竹彦『作文表現論』明治図書、1991年3月
- 斎藤美津子『話しことばの科学』雪華社、1962年9月
- 斎藤美奈子『文章読本さん江』筑摩書房、2002年2月

- 佐伯 胖『「わかり方」の探究』小学館、2004年8月
- 堺 利彦『文章速達法』講談社学術文庫、1982年12月
- 坂口光司『高校の新しい作文指導』三省堂、1990年1月
- 寒川道夫編著『大関松三郎詩集 山芋』百合出版、1951年2月
- 佐々井秀緒『新文話と綴り方教育』厚生閣、1931年5月
- 佐々木吉三郎『国語教授撮要』育成会、1902年8月
- 佐々木吉三郎『訓練法撮要』上・下巻、同文館、1903年9月
- 佐々木紀子『ハイスクール歌日記』高校出版、1991年11月
- 佐々政男編『醒雪遺稿』明治書院、1918年12月
- 佐々政一『修辞法』大日本図書、1901年4月
- 佐々政一『日本作文法』金港堂書籍、1903年12月
- 佐々政一『新撰記事文講話』育英書院、1916年1月
- 佐々政一『新撰叙事文講話』育英書院、1916年5月
- 佐々政一『修辞法講話』明治書院、1917年7月
- 佐々政一『中学作文講話』明治書院、1917年9月
- 雑誌文献目録編集部『学校教育に関する7年間の雑誌文献目録昭和23～29年』日外アソシエーツ、1980年5月
- 佐藤喜久雄監修『表現技術(1・2・3)』創拓社、1994年4月
- 佐藤喜久雄『教室ディベート入門』創拓社、1994年9月
- 佐藤喜代治『作文演習—高等学校用』日本書院、1963年4月
- 佐藤忠男『論文をどう書くか』講談社現代新書、1980年4月
- 佐藤信夫『レトリック感覚』講談社、1978年9月
- 佐藤信夫『レトリック認識』講談社、1981年11月
- 佐野斉孝『生き方を見つける作文指導』一光社、1981年5月
- 佐野斉孝『ぼくらの現状を撃つ』一光社、1994年7月
- 澤田昭夫『論文のレトリック』講談社学術文庫、1983年6月
- 三森ゆりか『「視点を変える」訓練で力をつける』明治図書、1996年4月
- 三森ゆりか『「描写文」の訓練で力をつける』明治図書、1996年6月
- シーグフリード／河野與一訳『現代弁論術』岩波新書、1956年4月
- シルヴァスタイン／倉橋由美子訳『ぼくを探しに』講談社、1977年4月
- 汐見稔幸『少年期発達段階と教育』岩波書店、1979年10月
- 鹿内信善『やる気をひきだす看図作文の授業』春風社、2003年10月
- 篠崎久躬『文章表現力を高める取材指導』明治図書、1981年3月
- 篠崎久躬『文章表現力を高める作文指導』有精堂、1981年5月
- 篠田義明『コミュニケーション技術』中央公論社、1986年6月
- 渋谷 孝『作文教材の新しい教え方』明治図書、2001年9月
- 至文堂編『レポート・論文の能率的なつくり方』至文堂、1966年5月
- 至文堂編『文章上達法』至文堂、1974年6月
- 島村瀧太郎『新美辞学』東京専門学校出版部、1902年5月
- 清水幾太郎『論文の書き方』岩波新書、1959年3月
- 下橋邦彦『高校生は表現する』東方出版、1996年8月
- 下橋邦彦『挑発する教育・格闘する若者』勉誠出版、1998年10月
- ジャンニ・ロダーリ／窪田富男訳『ファンタジーの文法』筑摩書房、1978年5月

- 首藤久義『書くことの学習指導』編集室なるにあ、1994年9月
- 首藤久義『書くことの学習支援』東洋館出版、2004年8月
- 首藤久義・卯月啓子編著／桑の実会著『翻作法で楽しい国語』東洋館出版、2004年12月
- 白井健策『文章トレーニング』ちくま文庫、1987年1月
- 白石寿文他『小学校作文の授業』教育出版センター、1986年3月
- 白石寿文『育つことば育てることば』東洋館出版、1996年1月
- 白石寿文編『国語の授業を愉しむー理論と実践相補を志向して』全3冊、私家版、2003年8月
- 白鳥千代三『小倉講演綴方教授の解決』目黒書店、1921年4月
- 菅井建吉『基本文型による書くことの指導』明治図書、1972年9月
- 菅井建吉他『ことば＝語彙の教育』三省堂、1988年1月
- 菅谷廣美『『修辞及華文』の研究』教育出版センター、1978年8月
- 鈴木孝夫『ことばと文化』岩波新書、1973年5月
- 鈴木良治編『高校生のための国語科ディベート授業』明治図書、1994年6月
- スタンウッド・コップ／小川 正訳『創造性の探究』明治図書、1971年5月
- 摺田誉美『「説得するために書く」作文指導のあり方』溪水社、2004年11月
- 世界教育史研究会『世界教育史大系第17巻 アメリカ教育史 I』講談社、1975年2月
- 牲川波都季・細川英雄『わたしを語ることばを求めてー表現することへの希望』三省堂、2004年3月
- 関 令子・近藤裕子・戸塚隆子・金子明雄『現代文章講座』世織書房、1996年3月
- 全国作文指導会『中学生の表現力基礎編』教育出版センター、1977年8月
- 全国大学学会編『表現指導の整理と展望』明治図書、1981年2月
- 全国大学国語教育学会編『表現教育の理論と実践の課題』明治図書、1986年2月
- 全国大学国語教育学会編『国語科教育学研究の成果と展望』明治図書、2002年6月
- 全日本国語教育協議会『国語教育5 作文教育』明治図書、1955年11月
- ソシュール／小林英夫訳『一般言語学講義』岩波書店、1972年12月
- 高木 武『中等作文教本』巻2、修文館、1925年
- 高田 宏『エッセーの書き方』講談社現代新書、1984年9月
- 高橋俊三『意欲と能力を育てる国語の授業』教育出版、1984年10月
- 高橋俊三編『論理的に話し・書く指導』明治図書、1989年3月
- 高橋俊三『対話能力を磨く』明治図書、1993年3月
- 高橋龍雄『訂正中等国語作文書』巻1・巻2、啓成社、1909年2月
- 高森邦明『作文指導法の理論』明治図書、1974年
- 高森邦明訳『ガレー 作文指導法の原理』鳩の森書房、1979年5月
- 高森邦明『近代国語教育史』鳩の森書房、1979年10月
- 高森邦明『作文教育論』文化書房博文社、1986年3月
- 高森邦明『大正昭和初期における生活表現の綴り方の研究』高文堂出版、2002年11月
- 竹内敏雄編『美学事典』弘文堂、1961年12月
- 武島羽衣・大町桂月・久保天随『文章法』博文館、1914年6月
- 武島又次郎『修辞学』博文館、1898年9月
- 武島又次郎講述『作文修辞法』早稲田大学出版部、1904年
- 武島又次郎『文章入門』大倉書店、1907年10月
- 竹林貫一『中等作文講話』東京出版社、1916年10月
- 田近洵一・浜本純逸・大槻和夫編『たのしくわかる高校国語 I・IIの授業 2』あゆみ出版、1990年9月

- 多田公之助『小さな文章教室』米本書店、1970年3月
- 多田道太郎『文章術』潮出版社、1981年4月
- 立花 隆・東京大学教養学部立花隆ゼミ『二十歳のころ』新潮社、1998年12月
- 辰濃和男『文章の書き方』岩波新書、1994年3月
- 田中瑩一『表現開発の国語科授業』明治図書、1994年9月
- 田中豊太郎『綴方指導系統案と其実践』賢文館、1932年5月
- 田中豊太郎『綴方教育』非凡閣、1937年5月
- 田中久直『作文処理の方法』新光閣書店、1962年12月
- 田中久直『要約指導の実際』新光閣書店、1974年3月
- 田中宏幸『発見を導く表現指導』右文書院、1998年5月
- 谷崎潤一郎『文章読本』中央公論社、1934年11月
- 谷本 富『小学各科教授法講義』六盟館、1899年9月
- 田上新吉『生命の綴方教授』目黒書店、1921年10月
- 田上新吉『綴り方指導原論』目黒書店、1927年5月
- 玉井幸助『中等文範及び文話』育英書院、1915年3月
- 玉井幸助『女子新作文』実用文編、三省堂、1937年2月
- 玉井幸助『中等新作文』普通文編上・中・下、三省堂、1939年1月
- 田宮輝夫『作文教育ハンドブック』百合出版、1992年8月
- 塚田泰彦『語彙力と読書ーマッピングが生きる読みの世界』東洋館出版、2001年7月
- 塚田泰彦『国語科授業分析研究Ⅳ』筑波大学教育学系人文科教育学研究会、2002年3月
- 塚田泰彦『国語教室のマッピング』教育出版、2005年8月
- 塚原鉄雄『思考と表現』共文社、1979年10月
- 塚本哲三『精鋭新版 作文学び方考へ方と作り方』考へ方研究社、1938年10月
- 鶴見俊輔『文章心得帖』潮文庫、1985年4月
- デール・カーネギー／森本毅郎訳『自信のつく話し方教室』三笠書店、1985年7月
- 寺田 透編『露伴随想集(下)言語編』岩波文庫、1993年10月
- 時枝誠記『国語問題と国語教育』中等学校教科書、1948年11月
- 時枝誠記『文章研究序説』山田書院、1960年9月
- 時枝誠記『改稿 国語教育の方法』有精堂出版、1970年4月
- 徳田 浄『国語の教育』晃文社、1939年5月
- 戸田唯巳『作文＝どのように書かせるか』明治図書、1973年9月
- 戸田唯巳『「作文嫌い」はこうして生まれる』明治図書、1992年9月
- 戸田達夫『作文に強くなる』彌生書房、1962年8月
- 戸田山和久『論文の教室ーレポートから卒論まで』NHKブックス、2002年11月
- 富田博之『日本児童演劇史』東京書籍、1976年8月
- 友田亘剛『中学校用作文教科書』巻二、光融館、1903年4月
- 友田亘剛『中等作文教本』初編巻1・巻2、晩成處、1908年12月
- 友田亘剛『女子作文教本』巻4、晩成處、1909年12月
- 友田亘剛『新編女子書牘文教本』晩成處、1913年11月
- 友納友次郎『綴方教授法の原理及實際』目黒書店、1918年3月
- 友納友次郎『将来の綴方教育』明治図書、1928年5月
- 外山滋比古『日本の文章』北斗出版、1979年4月

- 豊田八十代・小関源助・酒井不二雄『実験綴方新教授法』廣文堂書店、1912年3月
- 鳥居美和子『教育文献総合目録第3集 明治以降教科書総合目録Ⅰ 小学校篇』小宮山書店、1967年3月
- 鳥居美和子『教育文献総合目録第3集 明治以降教科書総合目録Ⅱ 中等学校篇』小宮山書店、1985年2月
- 鳥山榛名『新しい作文学習』三省堂、1949年7月
- 仲 新『近代教科書の成立』大日本雄弁会講談社、1949年7月
- 中内敏夫『生活綴方成立史研究』明治図書、1970年11月
- 中内敏夫『新しい教育史』改訂増補版、新評論、1992年5月
- 中内敏夫他編『小砂丘忠義教育論集』全3巻、南の風社、1993年7月
- 永江 朗『話を聞く技術！』新潮社、2005年10月
- 長崎県立長崎南高等学校国語科『高等学校「国語Ⅰ」における作文指導』有朋堂、1983年11月
- 中島幹事『教育適用文章組立法』開新堂、1891年9月
- 中瀧正堯『国語科表現指導の研究』溪水社、1986年3月
- 中瀧正堯編『言語表現の研究と教育』三省堂、1991年3月
- 中瀧正堯・国語教育探究の会『子どもとひらく国語科学習材・作文編』明治図書、1999年4月
- 中瀧正堯・国語論究の会『表現する高校生—対話をめざす教室から』三省堂、2003年10月
- 長田久男編『表現指導の原理と方法2』教育出版センター、1992年3月
- 中西一弘他『作文指導の原理と方法』光村図書出版、1977年6月
- 中西一弘他編『やさしい文章表現法』朝倉書店、1995年3月
- 中西一弘『子どもとともに学ぶ作文指導の課題と方法』明治図書、1996年2月
- 中西一弘他編『基礎文章表現法』朝倉書店、1996年4月
- 長沼行太郎『思考のための文章読本』ちくま新書、1998年4月
- 中野 光『大正自由教育の研究』黎明書房、1968年12月
- 永野 賢『学校文法文章論』朝倉書店、1959年6月
- 永野 賢『文章論総説』朝倉書店、1986年5月
- 永野 賢『国語教育における文章論』共文社、1986年6月
- 永野 賢『若い教師のための文章論入門』明治図書、1990年5月
- 永野 賢他編『文章論で国語の授業を変えよう』明治図書、1991年6月
- 中村 明『比喩表現辞典』角川書店、1977年12月
- 中村 明『名文』筑摩書房、1979年3月
- 中村 明『感情表現辞典』六興出版、1979年8月
- 中村 明『表現のスタイル』筑摩書房、1984年11月
- 中村 明『文章をみがく』NHKブックス、1991年2月
- 中村 明他『採点ポイント式小論文ノート』三省堂、1994年
- 中村 明他編『類語新辞典』三省堂、2005年11月
- 中村敦雄『日常言語の論理とレトリック』教育出版センター、1993年11月
- 中村真一郎『文章読本』文化出版局、1975年
- 中村雄二郎『場所 トボス』弘文堂、1989年3月
- 永易 実『書くことで生きる力を育てる』日本書籍、1985年7月
- なにわ作文の会編『生きる力をはげます綴方教育』部落問題研究所、1976年8月
- 滑川道夫『日本作文綴方教育史1〈明治編〉』国土社、1977年8月
- 滑川道夫『日本作文綴方教育史2〈大正編〉』国土社、1978年11月
- 滑川道夫『映像時代の読書と教育』国土社新書、1979年11月

- 滑川道夫編『国語教育史資料 第3巻 運動・論争史』東京法令出版、1981年4月
- 滑川道夫『日本作文綴方教育史3(昭和篇Ⅰ)』国土社、1983年2月
- 滑川道夫『国語教育の創造的視野』あすなろ書房、1987年2月
- 滑川道夫『解説国語教育研究－国語教育史の残響－』東洋館出版、1993年8月
- 奈良国語教育実践研究会編『課題条件法による作文指導・中学校編』明治図書、1990年8月
- 成清良孝編著『テーマ別小論文の実践』京都書房、1994年3月
- 鳴島 甫『俳句による”レトリック”原点からの指導』、大修館書店、1994年11月
- 西尾 実『国語国文の教育』古今書院、1929年11月
- 西尾 実『国語教育学の構想』筑摩書房、1951年1月
- 西尾 実『書くことの教育』習文社、1952年5月
- 西尾 実『国語教育学序説』筑摩書房、1957年4月
- 西尾 実『言語生活の探究』岩波書店、1961年1月
- 西尾 実『西尾実国語教育全集第3巻－書くこと・綴ることの研究－』教育出版、1975年2月
- 西尾 実編著『昭和31年度版国語・学習指導の研究』6冊本、筑摩書房、1956年
- 西尾 実編著『昭和36年度版国語・学習指導の研究』3冊本、筑摩書房、1961年
- 日本国語教育学会『国語教育の諸問題－反省と提案－』光風出版、1955年11月
- 日本国語教育学会編『国語教育辞典』朝倉書店、2001年8月
- 日本作文の会編『作文指導系統案集成』百合出版、1964年5月
- 日本ペンクラブ『文章読本』福武文庫、1988年1月
- 根来 司『新新文章表現』和泉書院、1982年2月
- 野内良三『レトリック入門』世界思想社、2002年12月
- 野口和子『楽しく豊かな作文教室』新光閣書店、1984年11月
- 野地潤家『国語教育学研究－国語教育を求めて－』私家版、1961年3月
- 野地潤家編『作文・綴り方教育史資料(上・下巻)』桜楓社、1971年5月
- 野地潤家『作文教育の探究』文化評論出版、1972年7月
- 野地潤家編『世界の作文教育』文化評論出版、1974年2月
- 野地潤家『作文指導論』共文社、1975年5月
- 野地潤家編『作文指導実践入門』共文社、1978年10月
- 野地潤家『国語教育原論』共文社、1980年9月
- 野地潤家編『国語教育史資料 第6巻 年表』東京法令出版、1981年4月
- 野地潤家編『国語教育史資料 第1巻 理論・思潮・実践史』東京法令出版、1981年4月
- 野地潤家編『国語教材研究シリーズ13 表現教材編』桜楓社、1981年11月
- 野地潤家『綴り方教授の理論的基礎』教育出版センター、1983年8月
- 野地潤家『芦田恵之助研究3 綴り方授業編』明治図書、1983年8月
- 野地潤家『大村はま国語教室の探究』共文社、1993年3月
- 野地潤家『野地潤家著作選集第5巻 国語教育史の探究』明治図書、1998年3月
- 野地潤家『野地潤家著作選集第8巻 中等作文教育史研究Ⅰ』明治図書、1998年3月
- 野地潤家『野地潤家著作選集第9巻 中等作文教育史研究Ⅱ』明治図書、1998年3月
- 野地潤家編『戦後作文教育文献解題 昭和22年～昭和39年』溪水社、1999年3月
- 野宗睦夫『高校国語教育－実践報告』私家版、1964年4月
- 野間 宏『文章読本』新読書社出版部、1960年4月
- 浜本純逸編『中学校語彙指導の活性化』明治図書、1990年2月

- 芳賀矢一・杉谷代水『作文講話及び文範』上下巻、富山房、1912年3月
- 萩野貞樹『範例による文章表現』双文社出版、1988年4月
- 萩野貞樹『名文と悪文』日本教文社、1992年6月
- 橋本暢夫『大村はま「国語教室」に学ぶ』溪水社、2001年7月
- 橋本暢夫『中等国語教材史研究』溪水社、2002年7月
- 長谷川乙一編著『昔の作文 今の作文』松沢書店、1957年10月
- 長谷川孝士編『表現指導の原理と方法1—小学校—』教育出版センター、1986年9月
- 波多野完治『文章心理学』三省堂、1935年10月
- 波多野完治他編『作文教育の理論』河出書房、1954年11月
- 波多野完治他編『作文指導の方法』1～3、河出書房、1954年12月
- 波多野完治他編『現代教育と作文』河出書房、1955年7月
- 波多野完治他編『ことばと文章の心理学』新潮文庫、1958年4月
- 波多野完治『新文章入門』講談社現代新書、1965年5月
- 波多野完治『現代レトリック』大日本図書、1973年5月
- 波多野完治・吉田 昇・木原 茂『現代の国語教育理論—認識と学力の統一』三省堂、1974年5月
- 波多野完治『波多野完治国語教育著作集』上・下巻、明治図書、1975年10月
- 波多野完治『説得の文章心理学』ちくまぶっくす、1981年5月
- 波多野完治『文章心理学入門<新版>』小学館、1988年12月
- 花田修一『国語科ディベート授業入門』明治図書、1994年9月
- 土部 弘『文章表現の機構』くろしお出版、1973年11月
- 馬場博治『読ませる文章の書き方』創元社、1983年3月
- 馬場博治『文章教室20講』大阪書籍、1983年4月
- 馬場博治『実践文章教室』大阪書籍、1987年4月
- 馬場博治『作文に強くなる』岩波ジュニア新書、1993年5月
- 浜崎賢太郎他編『国語表現の演習』明治書院、1986年11月
- S.I.ハヤカワ／大久保忠利訳『思考と行動における言語』第四版、岩波書店、1985年2月
- 林 大 他編『現代作文講座』全8巻+別巻 明治書院、1976年-1977年
- 林 四郎『文章表現法講説』學燈社、1969年12月
- 林 四郎『私の国語教育論』東京書籍、1982年5月
- 速水博司『近代日本修辞学史』有朋堂、1988年9月
- 速水博司『レトリックの歴史—近代日本—』有朋堂、1995年5月
- 原 子朗『修辞学の史的研究』早稲田大学出版部、1994年11月
- 樋口勘次郎『統合主義新教授法』同文館、1899年4月
- 飛田多喜雄編『新作文指導法の開発』明治図書、1969年9月
- 飛田多喜雄『文章表現の理論と方法』明治図書、1975年
- 飛田多喜雄編『新国語科表現力指導法』1～3巻、明治図書、1982年3月
- 飛田多喜雄他編『最新中学校国語科指導法講座3』明治図書、1983年10月
- 兵庫県高等学校教育研究会国語部会『自己をひらく表現指導』右文書院、1995年5月
- 平井昌夫『文章採点—よい文章をかくための条件』講談社、1960年4月
- 平井昌夫『文章表現法』至文堂、1969年7月
- 平井昌夫『文章評価法』至文堂、1971年10月
- 平井昌夫『新版 文章を書く技術』社会思想社、1972年11月

- 平井昌夫編『文章上達法』至文堂、1976年7月
- 平井昌夫『何でもわかる文章の百科』三省堂、1984年8月
- 平野 彧『作文指導と学級づくり』明治図書、1972年4月
- 平野 彧『新題材による作文指導』明治図書、1977年4月
- 平野 彧『作文指導の実践入門』明治図書、1980年9月
- 平野宣紀『国語表現法』笠間書院、1972年1月
- 平野秀吉『綴り方教授の根本的研究』六合館、1915年5月
- 平林治徳編『女子日本新作文』巻1、巻3、上級用 日本出版社、1936年1月
- 広田栄太郎他編『文章表現辞典』東京堂出版、1965年4月
- 広野昭甫『学習意欲を高める ことば遊びの指導』教育出版、1982年10月
- 広野昭甫『語彙を豊かにする 続・ことば遊びの指導』教育出版、1989年10月
- 府川源一郎・高木まさき/長編の会『認識力を育てる「書き換え」学習－小学校編』東洋館出版、2004年8月
- 府川源一郎・高木まさき/長編の会『認識力を育てる「書き換え」学習－中学校・高校編』東洋館出版、2004年8月
- 福岡教育大学国語研究室／附属久留米中・福岡中・小倉中『認識力を育てる作文教育』明治図書、1975年4月
- 富山房編集部『文章組織法』富山房、1892年2月
- 富山房編集部『帝国実業新作文』前篇上・下篇+前篇上補説、富山房、1929年10月
- 藤井慮逸他『綴り方教授法精義』弘道館、1909年5月
- 藤岡信勝編著『教室ディベート入門事例集』学事出版、1994年3月
- 藤本英二『ことばさがしの旅』上・下巻、高校出版、1988年6月
- 藤本英二『読むこと書くこと－大人への回路』久山社、2001年7月
- 藤本英二『聞かしてえ～な 仕事の話』青木書店、2002年8月
- 藤原与一『これからの国語』角川書店、1953年6月
- 藤原与一『毎日の国語教育』福村書店、1955年
- 藤原与一『国語教育の技術と精神』新光閣書店、1965年7月
- 藤原与一『ことばの生活のために』講談社現代新書、1967年1月
- 藤原与一『理の国語教育と情の国語教育』新光閣書店、1970年11月
- 藤原与一『私の国語教育学』新光閣書店、1974年6月
- 古田 拓『教師の話術』共文社、1963年11月
- 古田東朔『国語シリーズ36:教科書から見た明治初期の言語・文字の教育』光風出版、1957年9月
- 古田東朔『国語シリーズ50:続・教科書から見た明治初期の言語・文字の教育』光風出版、1962年6月
- 古谷知新『中等作文教科書』巻1、寶文館、1906年1月
- 文章言語技術の会『実践・言語技術入門』朝日選書、1990年2月
- 文章指導研究会『高校生における小論文のすすめ』新評論、1978年12月
- ペレルマン／三輪 正訳『説得の論理学』理想社、1980年5月
- 宝地地まり子『中学校国語科表現指導の探究』溪水社、2001年8月
- 保坂弘司『文章はどう書くか』學燈社、1975年3月
- 堀 七蔵編『故文学博士金子彦二郎先生』私家版(金子令三)、1958年9月
- 堀江マサ子『高校作文教育の実際』溪水社、1981年8月
- 堀江マサ子『高校作文教育の探究』溪水社、1995年3月
- 本多顕彰『文章作法』現代教養文庫、1959年6月
- 本多勝一『日本語の作文技術』朝日新聞社、1976年6月
- 本多勝一『ルポルタージュの方法』すずさわ書店、1980年12月

- 本多勝一『わかりやすい文章のために』すずさわ書店、1981年11月
- 本多勝一『実戦・日本語の作文技術』朝日新聞社、1994年9月
- 本間徹夫『高校生のための文章読本』一光社、1978年8月
- 増井金典『文章でどう表現するかー中学生の文章作法』北大路書房、1978年
- 増淵恒吉他編『高等学校国語科教育研究講座』第12巻、有精堂、1973年12月
- 増淵恒吉他編『講座中学校国語科教育の理論と実践』第2巻、有精堂、1981年1月
- 増淵恒吉『増淵恒吉国語教育論集』下巻、有精堂、1981年3月
- 増淵恒吉編『国語教育史資料 第5巻 教育課程史』東京法令出版、1981年4月
- 増淵恒吉他編『高等学校作文指導講座』全3巻、有精堂、1981年11月
- 増淵恒吉編『国語教育の課題と創造』有精堂、1984年2月
- 町田守弘『授業を開くー【出会い】の国語教育』三省堂、1990年1月
- 町田守弘『国語教育の戦略』東洋館出版、2001年4月
- 町田守弘『声の復権と国語教育の活性化』明治図書、2005年10月
- 松金 進『いひたいことにつき当たって』国土社、2003年1月
- 松永信一『言語表現の理論』桜楓社、1971年8月
- 松村 明『国語表現法』桜楓社、1975年3月
- 松本道弘『やさしいディベート入門』中経出版、1990年7月
- 松谷英明『ひとり学びのプリント50』学事出版、1990年8月
- 松谷英明『就職作文・小論文と手紙文の書き方』学事出版、1991年1月
- 丸谷才一『文章読本』中央公論社、1977年9月
- 丸谷才一『恋文から論文まで』福武書店、1987年9月
- 丸山圭三郎『ソシユールを読む』岩波書店、1983年6月
- 丸山林平『生活表現と綴方指導』目黒書店、1924年3月
- 丸山林平『女子新作文』巻3・巻4、東京開成館、1937年12月
- 三浦和尚『中学校国語科学習指導の展開』三省堂、1993年9月
- 三浦正雄『楽しい創作入門』岩波ジュニア新書、1997年4月
- 三島由紀夫『文章読本』中央公論社、1959年1月
- 三田村熊之介『中等教育新撰作文書』松雲堂、1889年10月
- 三田村熊之介『美文応用中学新作文』石塚書舗、1904年9月
- 峯 是三郎『新定作文書教師用』文学社、1891年
- 峰地光重『小学校綴方教授細目』（昭和9年復刻）、文園社、1934年
- 峰地光重・今井譽次郎『学習指導の歩み 作文教育』東洋館出版社、1957年4月
- 宮下勅夫『学び手が育つ国語の授業ー大村教室に学ぶー』信濃教育会出版部、1990年2月
- 無着成恭編『山びこ学校』青銅社、1951年3月
- 村松定孝他編『国語表現事典』東京堂出版、1981年8月
- モウルトン／本多顕彰訳『文学の近代的研究ー文学の理論及び解釈の序論』岩波書店、1932年11月
- 望月久貴『言語表現の基本問題』学芸図書、1984年8月
- 望月久貴『国語科教育史の基本問題』学芸図書、1992年6月
- 森岡健二『国語シリーズ39 文章の構成法ーコンポジションー』光風出版、1958年9月
- 森岡健二『文章構成法ー文章の診断と治療ー』至文堂、1963年9月
- 森岡健二他編『講座現代語4 表現の方法』明治書院、1964年2月
- 森岡健二他『文章作法』明治書院、1967年11月

- 森岡健二『小学校における文章構成法〔基礎編〕』光文書院、1970年4月
- 森岡健二『ことばの教育(現代語研究シリーズ第4巻)』明治書院、1988年3月
- 森岡健二『文章構成法』東海大学出版会、1989年4月
- 森久保安美『書く力を育てる国語教室』教育出版センター、1984年5月
- 森田信義『表現教育の研究』溪水社、1989年10月
- 森 まゆみ『樋口一葉の手紙教室』ちくま文庫、2004年5月
- 森本正一他『中学校国語の指導 表現編』三省堂、1978年4月
- 森本哲郎『「私」のいる文章』ダイヤモンド社、1979年6月
- 守屋貫秀『創作本位綴方学習の指導』大同館書店、1922年11月
- 森山卓郎『コミュニケーションの日本語』岩波ジュニア新書、2004年12月
- 茂呂雄二『なぜ人は書くのか』東京大学出版会、1988年1月
- 文部省『高等学校国語科指導資料 教材と指導法』東京電機大学出版局、1966年3月
- 文部省『高等学校国語資料「表現」の学習指導－国語I・国語IIを中心として』東山書房、1982年2月
- 文部省『指導計画の作成と学習指導の工夫 言語に関する事項の学習指導』学校図書、1992年5月
- 文部省『中学校・高等女学校現在使用教科図書表(復刻版)』芳文閣、1992年
- 文部省『中学校国語指導資料 国語科における学習指導と評価－作文の学習指導』慶應通信、1993年6月
- 安居總子『授業開きの構造』光村図書、1987年3月
- 安本美典『文章心理学入門』誠信書房、1965年5月
- 安本美典『説得の文章技術』講談社現代新書、1983年3月
- 八波則吉『応用修辞学講話』敬文館、1914年11月
- 八波則吉『現代女子新作文』巻1・巻2・上級用、英進社、1935年1月
- 八波則吉『現代中等新作文』巻1・巻2、英進社、1935年1月
- 柳沢浩哉・中村敦雄・香西秀信『レトリック探求法』朝倉書店、2004年5月
- 柳瀬真子『楽しい作文教室』第一法規、1980年4月(改題『楽しい作文』くろしお出版、1984年4月)
- 矢野文雄『演説文章組立法』丸善商社書店、1884年5月
- 山形英二『虚構と伝達の作文指導』黎明書房、1978年10月
- 山岸徳平・岩田九郎『女子新選作文』帝国書院、1935年12月
- 山口 正『レトリック理論と作文指導』明治図書、1969年6月
- 山口 正『レトリックの精神と西尾理論』教育出版センター、1976年7月
- 山路兵一『綴方の自由教育』東洋図書、1925年3月
- 山住正己『日本教育小史－近・現代－』岩波書店、1987年1月
- 山根久米治『受験本位作文模範答案作成法』昇龍堂書店、1932年9月
- 山根安太郎『国語教育史研究』溝本積善館、1966年3月
- 山本哲夫『必携国語科教育史』東京法令出版、1994年11月
- 山本安英の会編『きくとよむーことばの勉強2』未来社、1974年11月
- 横尾壯英『クインティリアヌス』牧書店、1957年8月
- 吉澤義則『現代作文』巻1・巻2、星野書店、1927年1月
- 吉田瑞穂『私の作文教育帳』東洋館出版、1952年8月
- 米田俊彦『近代日本中学校制度の確立』東京大学出版会、1992年1月
- 萬屋秀雄『現代作文教育を拓く』教育出版センター、1984年10月
- ロラン・バルト／沢崎浩平訳『旧修辞学 便覧』みすず書房、1979年4月
- 和多文雄『条件作文と客観評価』謙光社、1967年7月

渡辺郁子『作文指導の展開 I / 記述前指導』新光閣書店、1981年1月

渡辺雅子『納得の構造—日米初等教育に見る思考表現のスタイル—』東洋館出版、2004年9月

渡辺 実『さすが！日本語』ちくま新書、2001年4月

■引用・参考論文一覧（執筆者名五十音順）

芦田恵之助「綴り方教授の帰着点」『国語教育』第1巻第11号、1916年11月

浅田孝紀「五十嵐力の修辞学理論に関する考察—作文指導のための再編と精選—」『人文科教育研究』第16号、人文科教育学会、1989年9月

浅田孝紀「五十嵐力の国文教育論に関する考察—国語読本の編纂まで—」『早稲田大学国語教育研究』第10号、早稲田大学国語教育学会、1990年6月

浅田孝紀「作文教育史における五十嵐力の位置」『人文科教育研究』第18号、人文科教育学会、1991年7月

浅田孝紀「五十嵐力における作文指導の実際—添削例の検討を通して—」『教育学研究集録』第15集、筑波大学教育学研究科、1991年10月

飯島孝夫「創造力開発の指導」『作文教育』第31集、全日本国語教育学会、1975年7月

五十嵐力「作文科教師に寄する言葉」『國學院雑誌』第39巻第11号、國學院大学、1933年11月

石井庄司「表現の人・金子彦二郎先生」押見虎三二教授退官記念事業会編『国語表現論叢』明治図書、1979年5月

石井庄司「芦田恵之助先生の綴り方教育の実際」『国語科教育』第27集、全国大学国語教育学会、1980年3月

井上尚美「トゥールミンの「論証モデル」について」『東京学芸大学紀要2部門』第27集、東京学芸大学、1976年

井上尚美・中村喬・小田迪夫「国語科における論理的思考力の育成」『国語科教育』第27集、全国大学国語教育学会、1980年3月

井上敏夫「解説」『大村はま国語教室第5巻』筑摩書房、1983年8月

今井文男「視点の創造」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月

入部明子「プロセス・アプローチにおける構想指導—マップによる思考の整理」『教育学研究集録』第15集、筑波大学教育学研究科、1991年10月

江口季好「小学校の作文教育で創造性をどう伸ばすか」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月

大内善一「飯田恒作の綴り方教育論研究」『茨城大学教育学部教育研究所紀要』第17号、茨城大学教育学部教育研究所、1985年

大内善一「金原省吾の「構想」の研究—作文教育基礎理論研究—」『茨城大学教育学部教育研究所紀要』第18号、茨城大学教育学部教育研究所、1986年

大内善一「新しいレトリック理論の作文教育への受容」『解釈』第32巻第5号374集、解釈学会、1986年5月

大内善一「作文教育における「描写」論の史的考察」『秋田大学教育学部研究紀要—人文科学・社会科学』第37集、秋田大学教育学部、1987年2月

大内善一「飯田恒作の綴り方指導組織化に関する考察」『秋田大学教育学部教育研究所報』第24号、秋田大学教育学部教育研究所、1987年3月

大内善一「作文教育における「発想・着想」論の史的考察—作文指導過程・方法の再検討」、日本教育大学協会第二常置委員会編『教科教育学研究』第5集、第一法規、1987年3月

大内善一「波多野完治の綴り方・作文教育論」『解釈』第33巻第4号385集、解釈学会、1987年4月

大内善一「作文教育における「構想」論の史的考察」『秋田大学教育学部研究紀要—人文科学・社会科学』第38集、秋田大学教育学部、1988年2月

- 大内善一「作文教育における「構成」論の史的考察」『秋田大学教育学部研究紀要—人文科学・社会科学』第40集、秋田大学教育学部、1989年2月
- 大内善一「作文教育における「表現」論の史的考察」『秋田大学教育学部研究紀要—人文科学・社会科学』第41集、秋田大学教育学部、1990年2月
- 大熊五郎「文章構成の方法」『作文講座2 文章作法』明治書院、1967年11月
- 大熊五郎「基本的な文章」『國文學』第18巻12号、學燈社、1973年9月
- 大熊五郎「論証文の書き方」『現代作文講座4 作文過程』明治書院、1976年12月
- 大熊五郎「米国の論理的思考教育—中学・高校の表現指導との関連」『国語科教育』第27集、全国大学国語教育学会、1980年3月
- 大熊 徹「作文教育における本質的課題に関する一考察」『月刊国語教育研究』第132集、日本国語教育学会、1983年5月
- 大平浩哉「学校教育における作文指導」文化庁『文章の書き方』大蔵省印刷局、1984年3月
- 大村はま「取材の指導」『作文教育』第5巻第5号、日本国語教育学会、1958年5月
- 大村はま『綴方十二ヶ月』に学ぶ『綴方十二ヶ月の意義と価値』文化評論出版、1971年8月
- 小笠原林樹「コンポジションの現在」『日本語学』第2巻第2号、明治書院、1983年2月
- 岡部嘉一「作文教授と独創的精神の涵養」『国語教育』第2巻第12号／第3巻第2号、1917年12月／1918年2月
- 尾木和英「作文指導の中心的課題—中学校における作文教育」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 尾島健次「五十嵐力博士著『新文章講話』」『平安朝文学研究』第3巻6号、平安朝文学研究会、1974年12月
- 小田迪夫「感想・感動」『高等学校国語科教育講座第12巻』有精堂、1973年12月
- 小田迪夫「寺田寅彦のインベンション」『大阪教育大学紀要第V部門』第24巻3号、大阪教育大学、1975年
- 小田迪夫「写生主義綴り方のインベンション」『国語教育学研究誌』第3号、大阪教育大学国語教育研究室、1978年11月
- 小田迪夫「意見文指導の課題—構想指導と発想指導—」『月刊国語教育研究』178号、日本国語教育学会、1987年3月
- 小田迪夫「寺田寅彦」『表現学大系第28巻 随筆・紀行の表現』教育出版センター、1995年2月
- 甲斐睦朗「物語の文章構造」『日本語学』第2巻第2号、明治書院、1983年2月
- 勝又昌義「明治末における構想論(1) 五十嵐力「文章組織の五形式」」『東京学芸大学紀要』第18集第2部門・第19集第2部門、東京学芸大学、1967年2月・1968年3月
- 金岡 孝「文章論の位置づけ」『日本語学』第2巻第2号、明治書院、1983年2月
- 金子彦二郎「文章教授法」『日本現代文章講座』第6巻、厚生閣、1934年11月
- 金久慎一「構想力を育てる高学年作文学習の実現」『月刊国語教育研究』第140集、日本国語教育学会、1984年1月
- 川上 繁「私の作文指導—書けない子の立場に立って—」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 木原 茂「作文指導Ⅲ 論説」『高等学校国語科教育研究講座』第12巻、有精堂出版、1973年12月
- 木原 茂「思考と言語技術」『現代の国語教育理論』三省堂、1974年5月
- 木原 茂「コンポジション理論の可能性」『講座中学校国語科教育の理論と実践』第3巻、有精堂出版、1981年1月
- 木原 茂「作文教育における創造力の育成」『国語科教育』第28集、全国大学国語教育学会、1981年3月
- 倉澤栄吉「作文教育における"想"の問題」『国語教育研究』第60集、日本国語教育学会、1977年5月
- 香西秀信「ウィーバー(Weaver R.M)の作文教科書『Composition』(1957)の国語教育的意義について—トポスによる議論指導の試み—」『人文科教育研究X』人文科教育学会、1983年6月
- 香西秀信「文章訓練における模倣の効用—修辞学者の言葉に拠りつつ—」『人文科教育研究X I』人文科教育学会、1984年9月

- 香西秀信「Stasis理論と主題の限定」『人文科教育研究XⅡ』人文科教育学会、1985年12月
- 香西秀信「説得的言論の発想形式に関する研究(1)―修辞学の復活―」『琉球大学教育学部紀要』第29集、琉球大学教育学部、1986年2月
- 香西秀信「議論の型と論者の思想の関係について」『読書科学』第31巻1号、日本読書学会、1987年
- 香西秀信「説得的言論の発想形式に関する研究(2)―類および定義からの議論―」『宇都宮大学教育学部紀要』第39号第1部、宇都宮大学教育学部、1989年
- 坂口光司「私の作文指導―高校―」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 塩野米松・糸井重里「聞き書きの世界／『木のいのち木のこころ』と塩野米松さん」『ほぼ日刊イトイ新聞』<http://www.1101.com/kikigaki/02-0614.html>、2005年6月。
- 渋谷宗光「作文教育の側面から見た学習指導要領の変遷と今後の展望」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月
- 下沢勝井「「ききがき」教育の展望」『日本文学』29号、日本文学協会、1980年6月
- 高津鉄二郎「中等教育の学校に於ける作文教授の実況」『國學院雑誌』第6巻第10号、國学院大学、1900年10月
- 竹長吉正「西尾実氏の作文教育観―「創作学習」観の推移を中心に―」『国語科教育』第27集、全国大学国語教育学会、1980年3月
- 田近洵一「文学教育としての物語づくり―像的認識力を育てる―」『日本文学』第23巻第4号、日本文学協会、1974年4月
- 田近洵一「発想を育てる」『月刊国語教育研究』第60集、日本国語教育学会、1977年5月
- 田近洵一「作文教育における「想」の問題―「想」の生成過程の検討―」『学芸国語国文学』第14号、東京学芸大学国語国文学会、1978年2月
- 田中宏幸「表現から理解へ、理解から表現へ―主体的に書くことを促す授業の創造―」『両輪』第3号、神戸大学教育学部浜本研究室、1990年6月
- 田中宏幸「高等学校作文教育におけるインベンション指導の実践的研究―フリーターについて意見文を書かせる指導を通して―」『国語科教育』第38集、全国大学国語教育学会、1991年3月
- 田中宏幸「高等学校作文教育におけるインベンション指導―寺田寅彦のレトリックを利用して書く―」『国語教育研究』第34号、広島大学教育学部光葉会、1991年6月
- 田中宏幸「絵本を契機とした物語創作の指導―『ぼくを探しに』を教材として―」『国語年誌』第10号、神戸大学国語教育学会、1991年11月
- 田中宏幸「短作文を用いた発想拡充の指導―『ネコの安楽死は是か非か』の場合―」『エデュカーレ』第7号、第一学習社、1992年4月
- 田中宏幸「高等学校作文教育におけるインベンション指導―単元「私の友情論」の場合―」『国語科教育』第40集、全国大学国語教育学会、1993年3月
- 田中宏幸「「場」の設定に工夫を凝らす―恋文にお断りの返事を／遺書に返事を―」『自己をひらく表現指導』右文書院、1995年5月
- 田中宏幸「枠組み活用作文の効用―伊丹十三のエッセイを教材として―」『教育学研究紀要』第41巻第2部、中国四国教育学会、1996年3月
- 田中宏幸「意見文指導の実践的考察―灰谷健次郎『わたしの出会った子どもたち』を教材として―」『ノートルダム清心女子大学紀要』国語・国文学編第20巻第1号、1996年3月
- 田中宏幸「漢字に着目して詩を作ろう」『基礎文章表現法』朝倉書店、1996年4月
- 田中宏幸「「聞き書き」指導の考察―インベンション指導の観点から―」『月刊国語教育研究』315号、日本国語教育学会、1998年7月
- 田中宏幸「聞き書き指導の教育力とその指導法」『清心語文』創刊号、ノートルダム清心女子大学日本語日本文学

会、1999年12月

田中宏幸「目的意識・相手意識を育てる手紙―「場」の設定の再検討」『月刊国語教育研究』346号、日本国語教育学会、2001年2月

田中宏幸「発想力を育てる「枠組み作文」の実践的研究―別役実「正しい風邪のひき方」の場合―」『教育学研究紀要』第47巻第2部、中国四国教育学会、2002年3月

田中宏幸「「聞き書き」の教育力とその指導法(二)」『清心語文』第4号、ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会、2002年8月

田中宏幸「ライト作文の実践と課題―報道文を書く学習に物語を活用する―」『教育学研究紀要』(CD-ROM版)第49巻、中国四国教育学会、2004年3月

田中宏幸「作文指導における「相互評価」の改善」『両輪』第42号、早稲田大学教育学部浜本研究室、2004年10月

田中宏幸「中等作文教育におけるインベンション指導―大正・昭和初期の金子彦二郎の場合―」『月刊国語教育研究』392号、日本国語教育学会、2004年12月

田中宏幸「大正期高等小学校における綴方教授の実際―奈良県師範学校訓導池田彌一郎の場合―」『国語教育史研究』第3号、国語教育史学会、2004年12月

田中宏幸「昭和初期・高等女学校における作文処理と評価の実際―金子彦二郎の発想・着想・構想指導―」『清心語文』第7号、ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会、2005年7月

田中宏幸「[史料紹介]John Franklin Genung "The Working Principles of Rhetoric"」『国語教育史研究』第4号、国語教育史学会、2005年7月

田中宏幸「発想・取材の指導とその方法」『朝倉国語教育講座4 書くことの教育』朝倉書店、2006年2月

田中宏幸「中等作文教科書における作文課題の考察―佐々政一『日本作文法』(1903)及び『中学作文講話』(1917)の場合―」『国語科教育』第59集、全国大学国語教育学会、2006年3月

田中宏幸「五十嵐力・作文教育における「発想・着想・構想」指導―大正期作文教科書『高等女子新作文』を中心に―」『ノートルダム清心女子大学紀要』日本語・日本文学編第30巻第1号(通巻41号)、2006年3月

田中宏幸「大正・昭和初期の高等女学校用作文教科書に見られるインベンション指導―金子彦二郎『現代女子作文』(1925年)を中心に―」『国語科教育』第60集、全国大学国語教育学会、2006年9月

田上新吉「綴方教授最近の傾向を論ず」『国語教育』第4巻第10号、育英書院、1919年10月

内藤利信「発散的語彙を利用して発想を豊かにする表現指導」『月刊国語教育』東京法令出版、1985年9月

中渕正堯「新しい作文指導の展開」『月刊国語教育研究』第132集、日本国語教育学会、1983年5月

中渕正堯「自己評価への道筋」『月刊国語教育』第4巻第11号、東京法令出版、1985年

中渕正堯「「書くこと」の教育のカリキュラムの変遷」『国語科系教科のカリキュラムの改善に関する研究―歴史的変遷・諸外国の動向―』国立教育政策研究所、2002年3月

中西一弘「作文教育の回顧と展望」『講座国語科教育の探究2 表現指導の整理と展望』明治図書、1981年2月

中西一弘「書くことの学習指導とその体系」『朝倉国語教育講座4 書くことの教育』朝倉書店、2006年2月

中西 昇・池垣武郎・広瀬 博「高校の作文教育で創造性をどう伸ばすか」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月

中村敦雄「議論分析に主眼を置いた教科書の考察―An Introduction to Reasoningについて」『読書科学』第32巻3号、日本読書学会、1988年

中村敦雄「『文章構成法』の理論に関する一考察―昭和三十年代前半における森岡健二の所説を中心に―」『国語科教育』第46集、全国大学国語教育学会、1999年3月

中村敦雄「戦後国語教育におけるコンポジション受容の様相―『文章構成法―コンポジション』を中心に―」『学会国語教育研究』第17号、東京学芸大学国語教育研究室、1999年10月

- 滑川道夫「作文学習論」『国語教育科学講座第4巻 国語学習論』明治図書、1968年5月
- 鳴島 甫「明治大正期の修辞学受容にみる国語教育での修辞指導衰退の理由について」『筑波大学学校教育部紀要』第11巻、筑波大学学校教育学部、1988年
- 西尾 実「綴方教授體系」『国語教育講座』岩波書店、1937年10月
- 西尾 実・古田 拓・仲田庸幸「要約と敷衍と構想について—作文教育に対するひとつの提言—」『作文の教育』習文社、1956年5月
- 野地潤家「国語教育の遺産」『教育学全集5 言語と思考』小学館、1968年3月
- 野地潤家編「解題」及び「解説」『近代国語教育論大系Ⅲ』光村図書、1975年
- 野地潤家「国語教育のなかの作文教育」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 野地潤家「文章教育の史的展開」『中等国語教育の展開—明治期・大正期・昭和期—』溪水社、2004年10月
- 長谷川孝士「思考力を伸ばす作文指導—私の作文教育観」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 波多野完治「レトリックの再生」『思想』昭和9年9月号、岩波書店、1934年9月
- 波多野完治「レトリックの復権」『文学』岩波書店、1964年8月
- 波多野完治「近代レトリックの前史」『表現研究』第2号、表現学会、1965年4月
- 波多野完治「表現学と修辞学」『表現研究』第6号、表現学会、1967年9月
- 波多野完治「国語教育の現代化」『教育学全集第5巻言語と思考』小学館、1968年3月
- 波多野完治「表現以前の能力をどう開発するか」『國文學』第13巻第16号、學燈社、1968年12月
- 波多野完治「芦田恵之助の綴り方理論の心理学」『綴方十二ヶ月』の意義と価値』文化評論出版、1971年8月
- 浜本純逸「思考力を育てる」『月刊国語教育』第3巻第11号、東京法令出版、1984年2月
- 浜本純逸「国際化時代の作文教育」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 浜本純逸「基本としての論理的思考力、基礎としての論理的表現力」『月刊国語教育研究』385号、日本国語教育学会、2004年5月
- 林 美千代「「あらしのよるに」続き創作作品〈小学校〉全資料」『両輪』第38号、神戸大学教育学部浜本研究室、2002年11月
- 林 美千代「「あらしのよるに」続き創作作品〈中学校〉全資料」『両輪』第41号、神戸大学教育学部浜本研究室、2003年7月
- 速水博司「説明文の書き方」『現代作文講座4 作文過程』明治書院、1976年12月
- 速水博司「作文指導の史的変遷」『表現事項事典—国語資料図解—』全教図、1982年9月
- 速水博司「高校における作文教育」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 飛田多喜雄「明治期の中等国語科教育の変遷」『旧制中等学校教科内容の変遷』ぎょうせい、1984年3月
- 平山祐一郎「連想法を取り入れた作文指導法の効果に関する研究」『教育心理学研究』第41巻第4号、日本教育心理学会、1993年
- 深川明子「石川県における大正期の綴り方教授」『金沢大学教育学部教科教育研究』第17号、金沢大学教育学部、1981年7月
- 藤原 宏「私の作文教育観」『日本語学』第9巻第7号、明治書院、1990年7月
- 法華政良「高学年における構想の指導と実際」『作文教育』第2巻第8号、日本国語教育学会、1955年9月
- 宝代地まり子「巳野欣一の表現指導の成立と展開(その5)—明治・大正期の作文法と課題条件法との関連の考察—」『国語教育攷』第19号、国語教育攷の会、2004年5月
- 保科孝一「綴方教授の回顧」『国語教育を語る』育英書院、1932年11月
- 本間徹夫「高校における作文指導の課題」『作文と教育』百合出版、1978年5月
- 増淵勝一「五十嵐力博士の『実習新作文』」『平安朝文学研究』第3巻第6号、平安朝文学研究会、1974年12月
- 松本直子・井上浩義「生徒の動きを作る表現指導の工夫」『自己をひらく表現指導』右文書院、1995年5月。

- 三木 清「解釈学と修辞学」『波多野精一先生献呈論文集 哲学及び宗教と其歴史』岩波書店、1938年9月
- 湊 吉正「創造力を伸ばす作文教育」『作文教育』第31集、全日本国語教育学会、1975年7月
- 宮脇正孝「修辞学」『ことばコンセプト事典』第一法規出版、1992年12月
- 望月 努「創造力の開発と作文指導」『作文教育』第31集、全日本国語教育学会、1975年7月
- 望月久貴「文章表現における思考と創造」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月
- 森岡健二「コンポジション第一稿概説」『国文学解釈と鑑賞』1960年10月特大号、至文堂、1960年10月
- 森岡健二「文章構成法」『作文講座作文教育の展望』明治書院、1968年1月
- 森岡健二「国語教育とは何か」『言語生活』1976年2月号、筑摩書房、1976年2月
- 森岡健二「これからの国語〈表現〉指導—高等学校」『国文学』第22巻12号、学燈社、1977年9月
- 柳沢浩哉「佐々 修辞理論研究—カレント・トラディショナル・レトリックにおける位置付け—」『人文科教育研究』第12号、人文科教育学会、1985年12月
- 柳沢浩哉「タグミック・インベンションにおける具体的手順—その変容過程からの検討—」『教育学研究集録』第10号、筑波大学教育学研究科、1986年
- 柳沢浩哉「タグミック・インベンションの理論—その基本概念からの考察—」『人文科教育研究』第13号、人文科教育学会、1986年9月
- 柳沢浩哉「伝統修辞学と古典修辞学」『日本語と日本文学』筑波大学国語国文学会、1987年6月
- 柳沢浩哉「現行の国語教科書におけるインベンション—主題発見の問題—」『人文科教育研究』第14号、人文科教育学会、1987年9月
- 柳沢浩哉「『綴方十二ヶ月』におけるインベンションの研究—隠された技巧—」『国語指導研究』第2集、筑波大学国語指導研究会、1988年
- 柳沢浩哉「国語教科書におけるインベンションの研究—その有効性と限界—」『文教大学国文』第18号、文教大学国語国文学会、1989年3月
- 柳沢浩哉「レトリック関係文献目録(1)」『教育学系論集』第14巻第1号、筑波大学国語教育学系、1989年10月
- 柳沢浩哉「レトリック関係文献目録(2)」『教育学系論集』第14巻第2号、筑波大学国語教育学系、1990年3月
- 柳沢浩哉「日本におけるレトリック研究の現状と課題—国語教育の観点から—」『国語指導研究』第3集、筑波大学国語指導研究会、1990年
- 山口 正「レトリック理論と創造性の開発」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月
- 山口 正「渠成って水いたる」『作文教育』第31集、全日本国語教育学会、1975年7月
- 山口 正「想のトレーニング」『国語教育研究』第60集、日本国語教育学会、1977年5月
- 吉田瑞穂「作文教育を開いた人びと」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月
- 吉田瑞穂「私の作文指導小論」『国語教育研究』第60集、日本国語教育学会、1977年5月
- 吉田瑞穂「作文教育の実践構想」『月刊国語教育研究』第132集、日本国語教育学会、1983年5月
- 若林健一・茂呂雄二・佐藤至英「仮想視点からの作文」『国立国語研究所研究報告集13』国立国語研究所、1992年
- 和田史雄「創造性を考える」『作文教育』第31集、全日本国語教育学会、1975年7月
- 渡辺 武「中学校の作文教育で創造性をどう伸ばすか」『季刊国語教育誌』第1巻第3号、全日本国語教育学会、1971年11月